

試験結果報告書

No.219S-924
平成31年3月20日

サルーテ・ラボ株式会社 殿

遠赤外線応用研究会
〒542-0081大阪市中央区南船場4-9-11

試験項目 供試のion “e” airを使用した場合の、空気中のPM2.5微小粒子状物質の除去性能を確認する。

試験試料 ion “e” air

試験条件 1) 試験日時 平成31年3月19日
2) 測定機器 DYDOS CORPORATION製 DC110プロB型

試験方法 60L (50cm×40cm×30cm) のボックス内に60,000個/cc濃度のPM2.5微小粒子状物質を入れ、時間経過による濃度を測定し、空試験結果とする。次に、ion “e” airをボックス内の中心に配置し、上記濃度のPM2.5微小粒子状物質を入れ、時間経過による濃度を測定し、比較検証する。
なお、表示の数値としては初期濃度を100%として、PM2.5が減少していく割合を連続測定する。

試験結果

ion “e” air使用によるPM2.5除去性能試験結果

	経過時間					除去率
	初期濃度	10分後	20分後	30分後	60分後	
ion “e” air	100	70.6	60.2	52.9	9.9	90.1
空試験	100	94.6	84.3	80.5	78.3	21.7

(単位:%)

考 察 供試のion “e” airを使用した場合、PM2.5の除去率は60分経過後で90.1%に達した。一方、空試験の場合は21.7%に止まった。
このことから、ion “e” airには、空気中のPM2.5を除去する性能があることが示唆された。
尚、本試験結果は一定の密閉空間での試験による結果であり、実使用空間での実証試験ではありません (カタログなどには明記して下さい)。

PM2.5除去試験グラフ

